



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

プロバスだより

第265号

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

編集・発行：情報委員会

継続は力なり！

2017～18年度 テーマ プロバスクラブの道に終わりなし 生涯現役でクラブライフを楽しもう

第 265 回例会

日 時：平成 29 年 11 月 9 日(木) 8:50～17:00
場 所：野外研修・車中例会（八王子から学ぼう）
出席者：32 名 出席率 50.0%
（会員総数 68 名 休会 4 名 欠席 32 名）



1. 開 会

山口例会委員長

11 月例会は野外研修の為、車中で開催する旨を告げ、配布資料を確認。

2. 会 長 挨拶

武田会長

バスの中から「皆さんお早うございます」



一年が本当に早いですね。いよいよあと 50 日余で新しい年を迎えることになりました。

来年は成年ですね。52 円年賀状が発売されました。年賀状として通用する期間は、12 月 15 日から来年 1 月 8 日までです。この期間以外は通常の料金に戻りますのでご注意ください。

さて、今月は大きなイベントが三つあります。

一つは、本日 9 日、野外研修です。新しい八王子を知る企画で、後ほど研修委員会から詳しく説明があると思います。各施設の訪問を楽しみにしており

ます。参加者が 32 名と少なくなったのが残念ですが、無事に終わることを希望します。

二つ目は、18-19 日、例年通り「いちよう祭り」の会場案内担当業務が入ります。皆様のご協力よろしくお願いたします。今回は受付場所が D 会場（陵南公園分園）に変わっておりますので、ご注意ください。

三つめは、28 日、第 2 回東日本プロバス交流会です。10 月末日現在、八王子を含め、13 クラブ、101 名が参加予定です。ホストクラブとして、各地域から参加されるクラブをお迎えし、楽しい場になるようよろしくお願いいたします。

今日の野外研修の企画・実踏、そして運営と研修委員会の皆様ありがとうございます。

3. 幹 事 報 告

内山幹事

アンケートの回収を 11 月例会日としておりましたが、野外研修の参加者が少なく、止むを得ず、12 月例会日までとさせていただきます。未提出の方は 12 月例会日にご提出くださるようご協力をお願い致します。



4. 各 委 員 会 活 動 報 告

(1) 例会委員会

山口委員長

出席状況は出席 32 名、欠席 32 名、休会 4 名で出席率は 50.0%でした。

(2) 情報委員会

田中副委員長

「プロバスだより 264 号」をお手元にお届けしました。今月号の編集は白柳会員が担当しました。ご一読ください。

今月からインターネット印刷を採用し、印刷代が半額以下に削減されました。

野外研修報告

野外研修「八王子から学ぼう！」

平成27年年11月9日(木)

| | |
|--------------|--------------|
| 9:00 | 出発 |
| 9:20 ~10:35 | B&S コーポレーション |
| 10:50 ~12:10 | リオンテクノ |
| 12:30 ~14:00 | 日野オートプラザ、昼食 |
| 15:00 ~16:10 | 戸吹クリーンセンター |
| 17:00 | JR八王子駅解散 |

八王子市には規模も職種もさまざまな企業が数多く活動しています。

今回の野外研修ではその中から4件を選びました。

今の私たちに必要な健康対策として、**B&S コーポレーション**の「乳酸菌生成エキス」、**リオンテクノ株式会社**の「オーダーメイド補聴器」、そして八王子市民の日常を支えるインフラのひとつ**戸吹クリーンセンター**。昼食を兼ねた**日野オートプラザ**では、自動車の歴史を概観しながら来たるべき電気自動車の未来を見学しました。

① B&S コーポレーション

健康志向の現代、腸の働きを良くするヨーグルトなど乳酸菌製品が注目されています。ここ **B&S コーポレーション**では、ヨーグルト製造から始まって現在はより高度な乳酸菌生成エキスの研究開発をしています。

私たちの腸には200種類100兆個の細菌が棲んでいて、各種の酵素を作り食物を栄養に変え、有害物質を分解排除しています。世にいう善玉菌、悪玉菌もそれぞれに役割があり腸にとって必要なもの。各人固有のこの細菌叢をバランスよく増やし維持することで全身の健康が保たれます。

外部からの乳酸菌等の補充は効率が悪く、自分の腸にある常在菌を活性化の方が合理的かつ有用であるとのこと。

大豆から精製された乳酸菌生成エキスは細菌叢の栄養となり、腸を健康にする作用があるそうです。腸の働きについて資料を元に懇切丁寧な講義や質疑応答があり、一同健康への思いを新たにしました。

② リオンテクノ株式会社

加齢とともに耳の聞こえが悪くなります。そろそろ補聴器を、という方も多いでしょう。補聴器には、耳かけ型、耳穴型、ポケット型がありますが、こちらの工場では主にオーダーメイドの耳穴型を製作しています。その工程を見学させていただきました。

全国の販売店で型取りしたお客さんの耳型が送られてきます。データ入力、デザイン構成はパソコン、造形は3Dプリンター、汗や水を防ぐ撥水加工はナノコーティング装置と最新の技術を駆使していますが、全行程の要所では人の目と手で綿密なチェックが行われています。特に耳穴型は、シェルと呼ばれる外殻の形状が一人ずつ違い、かつ小さいものです。その中にマイク、増幅器、電池、イヤホンといった部品を収めるには顕微鏡レベルの熟練の手技が求められます。広い作業スペースでは大勢の若いマイスターが黙々と仕事に打ち込んでおられました。

③ 日野オートプラザ

昼食で利用させていただいた日野オートプラザは研修施設「日野自動車 21世紀センター」付属の日本のトラックとバスの歴史が分かる博物館です。

スロープ形式のギャラリーには、ルノーやボンネットバスなどなつかしい車とともに最新のEV車も展示されています。排気ガスや騒音とともに遠からずなくなるであろうエンジンの数々を改めて見学しました。

レストラン入口のミュージアムショップにはトミカの展示と販売のコーナーがあり、楽しそうに品定めをしている親子連れの姿がありました。



④ 戸吹クリーンセンター

戸吹クリーンセンターには、可燃ごみ、不燃物、プラスチックの処理施設があります。今回は可燃ごみと不燃物の現場を見学しました。

○ 八王子市戸吹清掃工場（可燃ごみ）



可燃ごみは、1日300トンの焼却能力を持つ焼却炉で処理されます。燃料は燃えているごみ自体の火力で

す。設備はすべてコンピューターで集中管理されていますが、炉内の温度を常時900度に保つようコントロールするのは、ホッパーを扱う担当技師の苦勞の一つのようです。

焼却熱は工場の冷暖房、給湯、発電に活用し、余った電力は売電しています。最後に残る焼却灰はすべてエコセメントになります。また工場からの排気、排水、臭気、騒音などには万全の対策を施し、地域の市民の暮らしに配慮しているそうです。

○ 不燃物処理センター

従来不燃物は機械で破砕して埋め立て処理をしてきましたが、埋め立て地の不足、環境保護の視点から、現在は再資源化による処理とごみ減量を目指しています。

センターの各所では、手選別で鉄、アルミ、陶磁器・ガラス・小型家電などの分別が行われていました。やはり人の手と目に勝るものはないのでしょうか。手選別は市内の障害者雇用にもつながり、誠実な仕事ぶりは高く評価されているそうです。手選別は手間と時間がかかり大変なように思いますが、スプレー缶などの危険物を区別できるので爆発事故が減り職場の安全性が向上したと聞きました。

不燃物のほとんどをリサイクルすることで最終的に埋める残渣を大幅に減量しています。

○ プラスチック資源化センター

不燃ごみの60%を占めるプラスチック製品は、再資源として有効に活用します。ペットボトルと容器包装プラスチックに分け、それぞれを圧縮梱包して再生業者へ、そしてまた新しい製品に生まれ変わります。こちらでもさまざまな機械とともに手選別が活躍しています。

私たちの暮らしから出たごみの行方を追ってみました。八王子市の膨大なごみの処理にはたくさんの知恵と労力が関わっています。

私たちも貴重な資源再利用とごみ減量により一層協力したいと思います。（記 池田ときえ）



9時に出発



おはようございます



B&Sに到着



B&S：製造機械



リオンテクノ：会社概要の説明



ようこそ戸吹クリーンセンターへ



リオンテクノ：製造行程の説明



戸吹クリーンセンター集中管理室



日野オートプラザ、展示室



プラザ内展示室



日野オートプラザ前で全員集合

今月の宇宙の学校

下山PJリーダー

10月22日(日)の宇宙の学校、本部教育センター会場は台風のため中止しました。

10月29日(日)の東京工科大学会場は、葉脈標本で「葉」を作ろう、及び家庭学習成果発表会でした。参加者の90%以上がレポートを作ってきて、子供と保護者で熱心に調べた結果を発表しました。最後に安間教育長を迎えて、閉校式を行いました。

11月4日(土)北高校会場でも同様に大勢の発表がありました。

11月12日(日)の本部教育センター会場では、中止した日の教材「コマの性質、スポイトロケット」をそれぞれ実演で説明し部品を渡しました。そして他会場同様、無事閉校式を終えました。これで平成29年

度の八王子宇宙の学校は成功し、すべて閉校となりました。



教育センター：教育長から終了証をいただきました。



東京工科大学：「葉脈のしおりの制作」



東京工科大学：「みんな真剣に聞いていました」



東京工科大学：「素晴らしい発表に皆さんが拍手！」



教育センター：「面白いしおりでしょう？」



教育センター：「みんな熱心に聞いたよ」



教育センター：研究発表「わさび飴を作ろう」

5. 同好会活動報告

有泉裕子

お茶同好会では10月22日に台町市民センターで出前講座を開催しました。

平成15年1月に発足以来、阿部治子会員（茶道 宗編流正教授）（煎茶道 東阿部流顧問上席、十徳所持）の教場において、毎月お盆手前でお稽古しています。

今回10月22日台町市民センター祭りで出前講座を依頼され、メンバーは特訓を受けました。

当日は台風21号の影響で雨天でしたが、市長はじめ大勢のお客さまがご来場くださり盛大に茶会が出来ました。阿部社中の方々には大変お世話になりました。





会場で山形会員が俳句を詠みました。

和はしき市民茶会や残花愛つ
野分中市民茶会の安らけき

6. その他

第38回八王子いちょう祭り実行委員会

岡本宝蔵

今年の日程は11月18、19日です。今年は会場のレイアウトが大幅に変わります。受付案内の場所が

去年までの場所と違いますので、ご注意ください。

7. 閉会

内山幹事

今日は一日、ご苦労様でした。



私と中国その2 <264号の続き> 持田律三

現地法人の設立は人材が幸いに見つかった南京にて始まった。南京は江蘇省の省都であり孫文の中山



陵がある。人口800万人の中核都市、上海から列車で5時間330kmほど内陸に入った揚子江沿いのところである。中国は発展途上国でインフラが無いことは分かっていたが、想像を超えることが多かった。

上海から特急列車に乗り軟座（クッション付き座席、通常は硬座と言って木製座席）の座席指定で通った。

当時は往復切符が無く、行った先で帰りの切符を買った。飛行機も同じで往復切符がなくて苦労した。国慶節とか旧正月の2月などは凄い混みようである。一度軟座が買えなくて、硬座席で移動したことがあった。列車の中に農民が竹籠に鶏を何羽も入れて乗り込んできた。車内の通路に置かれた籠の中からコケッココーである。早く降りたいが5時間は缶詰め状態で我慢せざるを得なかった。また、車内では乗客の多くはネスカフェの空き瓶を持っていた。それにはお茶の葉っぱを予め用意して入れてある。乗務員が車内を熱湯の入ったやかんを持って廻ってくる。乗客にお湯のサービスである。多くの人は用意した空き瓶を差し出しお湯をもらって自分でお茶を飲み楽しむのだ。

当時、中国でもカップラーメンがはやり始めていた。たくさんの人が車内でカップ麺にやかんでお湯を入れてもらいそれを食べ始める。混雑した車内に強い臭いがプーンとする。日本のカップ麺と違う臭いで閉口したものである。

調査視察のため中国の各地を回った。北は長春、

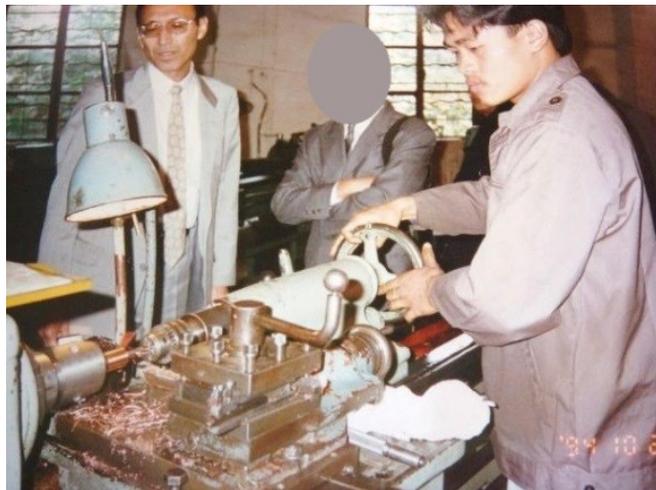
南は広州まで食べ物はどこへ行っても中華料理ばかり。しかし場所により料理の材料と味が全く違う。珍しい物もずいぶん食べた。長春では蛇の生血、南京で兔の耳、ラクダの足、犬の肉、広州では蛙、トカゲ、中国人は何でも食べる。四つ足で食べないのは椅子だけらしい。一緒に飲んで食べないと友達(朋友・ポンユ)になれないので、無理をした。教えられずに食べて後で分かって何度も驚いた。

日本から中国への出張は100回を超えた。中国国内の出張も多かったが遠距離は中国の国内線に乗った。いつも飛行機が着地すると胸を撫でていた。機内サービスも極めてお粗末だった。冷えていないビールやコーラを何度も飲んだ。外にないのだからどうしようもないのだ。炭酸類は温かいとすごく甘かった。

中国の地方にある協力会社を探すために多くの会社を訪問した。どの会社も零細な規模でいずれも品質レベルは驚くほど粗悪であった。例えば金属材料の溶解をするのに日本では高周波炉を使用するが中国では当時鞆(ふいご)とコークスを使っていたのには驚いた。中国政府はその頃から自動車工業を基幹産業にする基本政策を取り始めていたので、地方政府も自動車生産の近代化には大変関心を持っていた。生産設備が良くなければ良い車はできないという事で良い品質の生産設備需要が高まり始めていた。そういう中でわが社の現地法人設立は当初から多くの自動車会社から相当期待されていた。

その後、少し時間はかかったが、現地法人設立の許可が南京市政府から下りていよいよ工場建築の着工になった。ここでもいろいろな課題に直面した。工事が始まると間もなく建築会社は不足資材があると追加発注しなければならないので、その分の支払いをして欲しいと言う。彼らは余分の資金がないのだ。水道工事を進めるが許可が下りていない部分があるので市政府へ交渉して欲しいと言って来る。知人・友人がいなくなかなか許可は下りない。次から次へと問題が出て来る。大幅に遅れたが、ともかくも試作品製造の試運転ができるようになるには日本の4~5倍の手間がかかった。このように今まで経験したことのないことが次から次と起きてくるが、「郷に入っては郷に従う」ということで対処しながら開業にこぎつけた。1995年の暮れである。

こうして中国自動車産業の黎明期に日本からの技術導入による機械設備を使って、中国の自動車会社に日本と同じレベルの溶接機器を供給できることは各方面から大変喜ばれた。多くの苦難はあったが中国への進出というリスクとチャンスの両面のビジネスの妙味を学ぶことができ、私は中国事業の貴重な経験を積むことができた。(おわり)



〈中国の下請けメーカー視察(桂林)〉左が筆者

八王子

いちよう祭り



市制100周年記念第38回八王子いちよう祭りが11月18・19日に開催され、プロバスクラブのスタッフの皆様のご協力を賜り、無事終了することが出来ました。昨年度の来場者数は、約493,000人でしたが今年度は約503,000人で、10,000人増でした。18日の天気予報は雨降りとの事で来場者が少なく感じられましたが何とか持ちこたえました。19日は天候に恵まれ、約2倍の来場者数で成功裡にイベントが閉幕致しました事、厚く御礼申し上げます。

いちよう祭り祭典委員会常任理事 岡本宝蔵



俳句同好会便り

私の一句～十一月の句会から 河合 和郎

今月の兼題は「足」。何でもない言葉に人生の交々が表現できることに改めて驚く。人生を詠む。自然を詠む。そして老いゆく我を詠む。これぞ俳句。

縄暖簾肩で分け入る秋独り 渋谷 文雄

高倉健登場の一シーンを見るような趣。作者は人生の達人。男の孤愁を深く秘めた一句。

立冬や絶唱確と鉦叩き 山形 忠顯

作者は声楽の達人。冬になっても歌い続けている鉦叩きに、歌い手としての想いを寄せた一句。

物忘れ手足も鈍く八十の秋 東山 榮

作者は心身ともにすこぶるお達者。加えて俳句づくりで脳の活性化も十分にケア。目指すは米寿。

新蕎麦の香り豊かに喉に落つ 矢島 一雄

「豊かなる人生に食あり」の心境を一句に。「蕎麦はまだ花でもてなす山路かな」と芭蕉は詠んだ。

花野ゆく幼となりて老い二人 池田ときえ

句座一同共感の声。いつか行く道には違いないが、中七の措辞が侘しい。伴侶はくれぐれも大切に。

大根やぐら甘味閉じ込め里静か 田中 信昭

干し大根をつくる「大根やぐら」は宮崎地方の壮大な風物詩の一つ。中七の措辞が何とも言えずいい。

夫と居て言葉少なし夜半の月 飯田富美子

大方の夫婦は会話が少ない。心は通じるといっても会話は必要。しかし、月見る二人には言葉は不要。

秋風や足にすり寄る迷い猫 立川富美代

季節の移ろいを猫の行動でうまく表現できた。作者の心の温かさに引かれて、猫はすり寄ってきた。

駆けっこの二等また良し後の月 馬場 征彦

さらりと人生訓を詠んで秀。人は「一等賞だけが幸せなのか」との問い掛け。十三夜の月も美しいと。

小春日や藁の匂ひと温もりと 河合 和郎

稲わらの匂いと温もり。遠い子供の頃が懐かしい。今でも、どんな空調よりも心地好いに違いない。

<八木会員より>

◎9月30日(土) 横浜グリーンクラブの定演に出演いたしました。YouTubeに載りましたので、お聴きいただければ幸いです。

(演奏会場：みなとみらい21大ホール)

◎10月28日(土) 横浜国大グリーンクラブOB合唱団70周年記念コンサートが同じく「みなとみらい21大ホール」でオーケストラを交えて演奏会を致しました。男性180人とオケとの演奏は圧巻でした。

編集後記：皆様のご協力により、野外研修やお茶の会、宇宙の学校など、たくさんの写真を掲載することができ、楽しく編集作業を進めることができました。ありがとうございました。

山崎光子